

# 船津伝次平 — 近代農業の父 関連資料リスト

図書館講座「郷土にかがやく人々—中毛編—」

第1回 平成24年6月14日(木)「船津伝次平 —近代農業の父」と連動し、  
本館所蔵の船津伝次平関連資料の一部を展示します。

展示期間：平成24年5月1日～平成24年6月22日

群馬県立図書館 調査相談室

**船津伝次平略歴** 天保3年(1832)～明治31年(1898) 農業研究・指導者。

日本三老農の一人。「老農」とは、農事に熟達し、識見の優れた農民出身の農業技術指導者のこと。勢多郡富士見村原之郷の旧家に生まれ、幼名は市造。父から手習や素読を学び、長じて和算、暦学、俳諧、国学等を学ぶ。その後伝次平を襲名し、寺子屋の師匠も務めた。関流和算の免許皆伝。俳号は冬扇。若くして名主に推され、赤城山麓の植林事業等に尽力。従来の手加減・目分量に頼る農事の改良に取組み、数理を応用した農業の普及に努めた。探求心に富み、石苗間などの新農法も考案。『里芋栽培法』『養蚕の教』『稲作小言』等を親しみ易いチョボクレ節で講述したほか、『桑苗簾伏法』や『太陽暦耕作一覽』を著し広く農家に配布した。明治8年、農学特秀者として県令楫取素彦より推挙され、内務卿大久保利通の懇請により、駒場農学校(後の東京大学農学部)に出仕。学理と実験に基づき、日本の実情に合った独自の科学的農法を説いて、近代日本農業の確立に大きく貢献した。更に農商務省の巡回教師として各地を廻り、その技量功績は「明治の三老農」随一と讃えられた。遺徳を慕われ、翁の薫陶を受けた全国の人々からの寄付金により、東京北区飛鳥山公園に頌徳碑が建立されている。生家近くにも記念碑があり、富士見村の墓は県指定史跡。船津伝次平翁功德顕彰会により農業振興船津賞が設定され、模範農家の表彰も行われている。

【図書】(書名 著者名 出版者 出版年 請求記号 貸出用有に○)

『上毛及上毛人』第114(大正15年) 上毛新聞社 1973 K005 J69.3 3(12) ○

p.44-47 明治の三老農の一人 船津伝次平翁 東山道人 中島信虎(報)

『上毛及上毛人』第201号(昭和9年) 豊国義孝編 上毛新聞社 1974 K005 J69.3 3(20) ○

p.37-44 船津伝次平とは如何なる人乎 桑島定助

『上毛及上毛人』第297号(昭和17年) 豊国義孝編 上毛新聞社 1975 K005 J69.3 3(27) ○

p.27-33 船津伝次平翁を偲ぶ 耕雲山人

『群馬県百科事典』上毛新聞社 1979 K030 G94 ○ p.806 船津伝次平

『「上毛かるた」で見つける群馬のすがた知れば、もっとぐんまが好きになる!』群馬県文化振興課企画  
群馬県 2010 K210 +α03 ○ p.6,7 老農 船津伝次平

『群馬県史 資料編24』近代現代8産業2 群馬県史編さん委員会編 1986 K211 G94.2 2(34) ○  
付表2 「太陽暦耕作一覽」

『人づくり風土記』10 農山漁村文化協会 1997 K215 +α76 ○

p.187- 養蚕の盛んな村の手習所、九十九庵、p.188 個別指導の「弟子記」、

p.189 歌のかたちで学んだ「伊呂波異見」、p.190 九十九庵の学習生活

『目で見る前橋の100年前橋市・富士見村』南雲栄治監修 郷土出版社 2006 K220 +α6Z ○

p.17 老農・船津伝次平肖像

『勢多郡誌』勢多郡誌編纂委員会 1958 K221 Se91 ○ p.949-953 船津伝次平

『村の先人をたたえる碑 船津伝次平翁像』富士見村 1989 K221 卜95

『わたしたちの富士見村』富士見村社会科副読本作成企画委員会編 第7回改訂版 2001 K221 =13 ○  
p.133-143 村の発展につくした人々 船津伝次平

『富士見村誌』富士見村誌編纂委員会編 富士見村役場 2003 K221 =3Z ○

肖像あり p.1073-1074 船津伝次平

『郷土歴史人物事典群馬』萩原進著 第一法規 1978 K281.3 H14 ○ p.103-104 船津伝次平

『群馬県先哲偉人伝』群馬県国民精神総動員事務局編 1940 K281.4 G94 ○ p.106-107 船津伝次平

『上州の顔歳時記』〔東京新聞編〕東京新聞前橋支局 1981 K281.3 卜1Z ○ p.200 船津伝次平

『郷土史にかがやく人々』第1集 群馬県青少年室編 群馬県 1968 K281.4 G94.1 (1) ○

p.76-86 近代農業の父 船津伝次平 戸所孝雄

『群馬県人名大事典』上毛新聞社 1982 K281.3 卜2Y ○ p.457 船津伝次平

『新上毛外史』毎日新聞前橋支局編 煥呼堂 1943 K281.4 Ma31 ○ p.214-220 船津伝次平小傳

『郷土に光をかけた人々』1巻 群馬県教育委員会編 群馬県教育委員会 1985 K281.4 卜53 (1) ○  
p.157-162 農業技術の改良と指導につとめた「明治の老農」 船津伝次平

『群馬県を築いた人びと』群馬県小中学校教育研究会社会科部編 旺文社 1986 K281.4 卜69 ○ p.140-145 船津伝次平

『群馬の肖像顔は歴史を語る』群馬県立歴史博物館テーマ展示 I 群馬県立歴史博物館編 2004 K289  
+α41 (1) ○ p.7 船津伝次平

『船津伝次平翁伝』上野教育会編 煥乎堂 1907 K289 F89 ○

『船津伝次平翁伝記・船津伝次平』伝記叢書 石井泰吉著 大空社(出版) 2000 K289.1 F89 =0Z ○

『船津翁絵端書』群馬県勢多郡農会 K289.21 F89 000

『船津甲部巡回教師演説筆記』岩手県勸業報告 岩手県農商課 1888 K289.21 F89 =83 ○

『稲作小言』奈良軍平著 秀明堂 1890 K289.21 F89 #02

『農事試験場技師試補石山騰太郎君同技手船津伝次平君講話筆記』帝国農家一致結合南佐久郡集談  
会編 帝国農家一致結合南佐久郡集談会 1896 K289.21 F89 #62

『船津伝次平』土の偉人叢書 和田伝著 新潮社 1943 K289.21 F89 #32 ○

『船津伝次平翁伝』〔石井泰吉著〕船津伝次平翁功德顕彰会 1965 K289.21 F89 #52 ○

『郷土の偉人 船津伝次平』村の歴史シリーズ 富士見村教育委員会 1983 K289.21 F89 卜33 ○

『老農 船津伝次平』富士見村教育委員会 〔1987〕 K289.21 F89 卜70 ○

裏面へつづく

- 『老農船津伝次平その生涯と業績をつづる45話』柳井久雄著 上毛新聞社 2007 K289.21 F89 =78 ○
- 『「稲作小言」(船津伝次平)の著述上の真偽について』須々田黎吉著 2008 K289.21 F89 =85
- 『郷土の人 船津伝次平』富士見村郷土研究双書 大友農夫寿著 富士見村郷土研究会 1963 K289.21 F89 ○
- 『郷土之華』〔10〕 桐生町小学校編 白木屋書店 1917 K289.3 Ky2 (10) p.24-37 船津伝次平翁
- 『群馬県教育史』別巻 人物編 群馬県教育センター編 群馬県教育委員会 1981 K372 G94.2 2(6) ○  
p.409-410 船津伝次平、p.711 船津伝次平翁贈位記念碑、船津伝次平の墓
- 『群馬県庶民教育(寺子屋)調査報告書昭和11年(1936)調査報告書』第1巻 前橋市・勢多郡・利根郡  
群馬県文化事業振興会 2005 K372 +59 (1) ○ p.146 寺子屋師匠名 船津伝次平
- 『目で見る寺子屋教育』村の歴史シリーズ 富士見村教育委員会 1984 K372.21 143 ○  
p.5-41 寺子屋教育の実際「日本教育史-寺子屋編」、p.15 船津伝次平、p.42-48 寺子屋の資料
- 『群馬の算額』群馬県和算研究会編 群馬県和算研究会 1987 K419 173  
p.94-240-254 船津正武(伝次平)
- 『群馬の和算家そろばんの師匠たち』上毛文庫 大竹茂雄著 上毛新聞社 1988 K419 18Z ○ p.159-164 船津伝次平
- 『上州和算家の碑・墓碑を訪ねて』高橋大人著 2007 K419 =74 ○ p.153-159 船津伝次平正武
- 『上毛の和算』みやま文庫 丸山清康著 1972 K419.1 Ma59 ○ p.140 船津正武(伝次平)
- 『明治百年記念農林漁業顕彰業績録』日本農林漁業振興会 1968 602 N77 p.161-164 船津伝次平
- 『船津伝次平翁功德事業15年の歩み』船津伝次平翁功德顕彰会 1975 K610.1 F89 ○
- 『明治農書全集』第2巻 農山漁村文化協会 1985 610.8 138 (2) ○  
p.69-195 船津甲部巡回教師演説筆記 船津伝次平著、p.197-201 解題 須々田黎吉
- 『日本の農本主義』網沢満昭著 紀伊国屋書店 1980 611.1 101 ○ p.44-49 船津伝次平
- 『刻まれた歴史碑文は語る農政史』中村信夫著 家の光協会 1986 611.1 165 ○  
p.321-345 老農船津伝次平と内務卿大久保利通
- 『上毛篤農伝』みやま文庫 第1集 1981 K612 117 (1) ○ p.1-23 船津伝次平
- 『群馬県農業史』上(みやま文庫186) 宮崎俊弥著 2007 K612 =76-1 ○  
p.85-99 二人の老農、船津伝次平と武藤幸逸
- 『日本農業発達史明治以降における』第4巻 農業発達史調査会編 中央公論社 1954 612.1 N93 (4) ○  
p.675-735 船津伝次平の事績 石井泰吉 付記に「略歴」、「講演集・著書・日誌等目録」あり
- 『日本農人伝』巻4 和田伝著 家の光協会 1955 612.1 W12 (4) ○ p.273-306 天才百姓 船津伝次平
- 『日本老農伝』大西伍一著 平凡社 1933 K612.1 733 ○ p.470-504 船津伝次平
- 『日本農業技術史近世から近代へ』岡光夫著 ミネルヴァ書房 1988 612.1 181 ○ p.303-309 船津伝次平
- 『桑苗簾伏方法』全 船津伝次平口授 熊谷県 1873 K633 000
- 『講座・日本技術の社会史』別巻2 永原慶二〔ほか〕編 日本評論社 1986 K639 16Z p.113-119 船津伝次平
- 『絹先人考』シルクカントリー双書 上毛新聞社 2009 K639 =82 (3) ○ p.138-143 船津伝次平
- 『保安林物語くらしを守るみどり』倉沢博編 第一プランニングセンター 1982 J650 123 ○ p.38-40 原げんか
- 『森林を蘇らせた日本人』NHKブックス 牧野和春著 日本放送出版協会 1988 650.2 186 ○  
p.61-90 船津伝次平 赤城山麓の水源滋養計画
- 『富士見かるた』荒井元男題字 富士見村教育委員会 1980 K795 10X ○ 明治の老農船津翁
- 『上毛かるた』上毛かるた編集委員会〔編〕 群馬文化協会 1995 K795 15X ○ 老農船津伝次平
- 『開きのこりの唄船津伝次平伝 劇団「群芸」10周年記念上演脚本』古沢茂夫著 劇団群芸 1962 K927 F94
- 『農業王 精農・船津伝次平の光芒』大屋研一著 三五館 2004 K939 O94 =47 ○

## 【雑誌】

- 『群馬風土記』第3巻第4号通巻11号 特集:上州人の足跡 群馬出版センター〔編〕1989年7・8月号  
p.90-95 老農・船津伝次平の足跡 丸山知良
- 『群馬文化』第292号 2007年10月 群馬県地域文化研究協議会編 群馬県地域文化研究協議会  
p.69 柳井久雄著「老農 船津伝次平ーその生涯と業績をつづる四五話[改訂版]」 手島仁
- 『農業群馬』群馬県農業改良協会  
39巻1号 p.95-97 船津伝次平翁 第1回 その生いたち 萩原進、39巻2号 第2回 きびしい若き日日、39巻3号  
第3回 珠は地に埋れず、39巻4号 第4回 手(ハンド)から頭(ヘッド)の農業へ、39巻5号 第5回 移動船津教室、  
39巻6号 第6回 地に落ちた一粒のムギ
- 『グラフぐんま』16号 群馬県企画 上毛新聞社編  
p.46 日本の三老農の一人 船津伝次平
- 『振興ぐんま』No.102 2011.2 群馬県教育振興会編  
特集:『ぐんま』ゆかりの先人の偉績を訪ねる2ー中・東毛地域ー  
p.54-57 たずねてみませんか 上毛かるたシリーズ31 老農 船津伝次平 柳井久雄

## 【視聴覚資料】

- 『船津伝次平～日本農法の完成～』(上州再発見) [ビデオ] カラー ベータ 30分 群馬県教育委員会  
V28K 7170 ○
- 『群馬の先人』 [ビデオ] 群馬県教育委員会企画読売映画社 カラー 群馬県教育委員会 1995  
V28K 7 0566066 ○

## 【インターネット情報資源】

- 船津伝次平 (Wikipedia)  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%88%B9%E6%B4%A5%E4%BC%9D%E6%AC%A1%E5%B9%B3>
- ぐんま・学びと子育て300年～寺子屋から近代教育への歩み～平成18年度特別展・企画展 (群馬県立文書館)  
<http://www.archives.pref.gunma.jp/moyooshi-18-3/moyooshi-tenji-18-3-naiyou2.htm>
- 農業振興船津賞顕彰事業 (群馬県農業会議)  
<http://www.gnkaigi.jp/gyoumu/etc.html>